



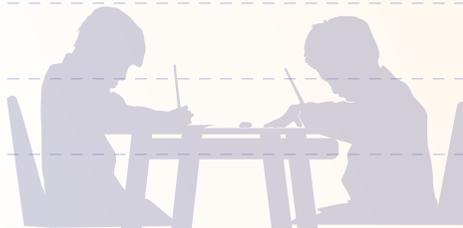
特集

「統一合判」

中学入試レポート vol. 3

最新の志望動向から探る、 2015年入試予測と 併願校選びのポイント

6年生の統一合判テストもこれで3回目。大勢の仲間が集まって力を競う、こうしたテストの雰囲気や形式に、ようやく慣れてきた受験生も多いと思う。来年2月の入試本番まで残り5か月足らず。いよいよこれからが、入試に即した実戦的な力を身につける段階だ。一方で保護者の皆さんは、わが子の受験校を固めていく時期になった。そこで今回は、この9月までに明らかになった志望動向（7月「統一合判」の前年比較）を踏まえて、来春2015年の入試状況をできる範囲で予想しながら、併願校選びのポイントをお伝えしていこう。



首都圏模試センター

学校名50音順。 ●=男子校／○=共学校

男子2月1日入試校

開成、麻布、慶應普通部が志望者増。

この7月の小6「統一合判」の受験者数は、計10,911名（男子4,985名・女子5,926名）で、前年7月の受験者数10,883名よりわずかながら増加した。そうしたなかで、志望者が前年比100%を超えて増加している学校は、人気増加傾向にあると考えることができる。その点を踏まえて、個々の人気動向を見ていこう。

まず、2月1日入試校の目立った動向を右の表に紹介した。

男子の最難関である開成をはじめ、麻布、慶應普通部は志望者増。早稲田①も増加している。武蔵、早稲田高等学院は前年並みだが、早稲田実業はわずかに減少。駒場東邦、海城①の志望者はやや減少している。共学校の渋谷学園渋谷①はわずかに志望者増。

これに続く難度の、芝①、サレジオ学院Aは微減。攻玉社①、巣鴨①、逗子開成①は昨年並みと見てよいだろう。桐朋は、新校舎完成への期待もあってか志望者増。城北①、世田谷学園①は、やや減少傾向が見られる。この2014年から2月1日入試に新規参入した本郷①はさらに志望者増。人気増加の傾向は来年も続きそうだ。

今春入試で大人気だった聖学院は今年も人気増加傾向にあり、聖学院①、午後入試の聖学院①〈特待選抜〉とも志望者増。成城①も新校舎人気もあっ



来春2015年入試に向けて、志望者が増えている麻布中。

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2014年	2013年	
2月1日 AM			
● 麻布	142	123	△ 19 (115%)
● 足立学園①	105	90	△ 15 (117%)
● 海城①	146	181	▲ 35 (81%)
● 開成	148	123	△ 25 (120%)
● 慶應普通部	142	112	△ 30 (127%)
● 攻玉社①	215	214	△ 1 (100%)
● 駒場東邦	71	92	▲ 21 (77%)
● サレジオ学院A	134	147	▲ 13 (91%)
● 芝①	342	357	▲ 15 (96%)
● 城北①	215	251	▲ 36 (86%)
● 巣鴨①	190	178	△ 12 (107%)
● 逗子開成①	214	216	▲ 2 (99%)
● 聖学院①	75	61	△ 14 (123%)
● 成城①	277	264	△ 13 (105%)
● 世田谷学園①	154	163	▲ 9 (94%)
● 高輪A	315	345	▲ 30 (91%)
● 桐朋	157	126	△ 31 (125%)
● 獨協①	233	220	△ 13 (106%)
● 日大豊山①	196	193	△ 3 (102%)
● 本郷①	287	228	△ 59 (126%)
● 武蔵	83	82	△ 1 (101%)
● 早稲田①	200	178	△ 22 (112%)
● 早稲田高等学院	95	96	▲ 1 (99%)
○ 国学院久我山①	165	144	△ 21 (115%)
○ 渋谷教育渋谷①	57	50	△ 7 (114%)
○ 順天①A	128	115	△ 13 (111%)
○ 成蹊①	124	133	▲ 9 (93%)
○ 成城学園①	145	144	△ 1 (101%)
○ 中央大学附属①	170	190	▲ 20 (89%)
○ 中央大学附属横浜①	265	268	▲ 3 (99%)
○ 桐光学園①	159	144	△ 15 (110%)
○ 東洋大学京北①	109	21	△ 88 (519%)
○ 日本大学A	232	239	▲ 7 (97%)
○ 日大第二①	223	238	▲ 15 (94%)
○ 明中八王子①	141	115	△ 26 (123%)
○ 山手学院A	106	111	▲ 5 (95%)
○ 早稲田実業	110	116	▲ 6 (95%)
2月1日 PM			
● 聖学院①特待選抜	67	40	△ 27 (168%)
● 東京都立大学付①I	222	282	▲ 60 (79%)
○ 関東学院①A	113	114	▲ 1 (99%)
○ 国学院久我山S T①	60	72	▲ 12 (83%)
○ 順天①B	62	45	△ 17 (138%)
○ 青稜①B	118	81	△ 37 (146%)
○ 多摩大聖丘②	48	35	△ 13 (137%)
○ 東京電機大②	88	65	△ 23 (135%)
○ 東京農大一①	147	133	△ 14 (111%)
○ 東洋大学京北②	45	10	△ 35 (450%)
○ 明治学院①	95	100	▲ 5 (95%)
○ 安田学園(先進特待1午後)	64	65	▲ 1 (98%)



てか志望者をやや増加させている。

来春から共学化と同時に新キャンパスに校地移転する**東洋大学京北①**は何と前年の約5倍の志望者に。午後入試の**東洋大学京北②**も4.5倍の志望者となっており、女子の人気と合わせて今後も動向に注目しておく必要がある。

午後入試の**東京都市大学付属①〈I型〉**は前年より志望者が減っているが、これは来春入試から〈I型〉と〈II型〉の募集定員を分けて別入試としたことによる。表には紹介していないが**東京都市大学付属①〈II型〉**の志望者は68名なので、合わせて考えると志望者増と見るべきだろう。

男子2月2日入試校

聖光学院、栄光学園がともに人気増。

次に2日入試の動向を見ていこう。

この2日入試校でも、**聖光学院①**、**栄光学園**がともに志望者増。**慶應湘南藤沢**は微減だが、1日入試と同様に、男子受験生に強気のチャレンジ志向が出てきたと見られる。

都内の有名大学付属校では、**立教池袋①**と**青山学院**の男子が志望者増。**明治大学付属中野①**と、2016年の共学化に向けて新たな教育環境を整備している**法政大学第二①**も志望者を増やしている。逆に、**学習院①**、**明治大学付属明治①**はやや志望者減となっている。

本郷②はここでも人気増加。**攻玉社②**は昨年並み。**巣鴨②**は微減。**城北②**、**世田谷学園②**、**高輪B**は、やや志望者を減少させている。

聖学院②はこの日も人気増。同じく今春入試で大人気だった**芝浦工業大学②**もさらに志望者を増やしている点に注目したい。同様に、今春は帰国生入試も含めて全体に人気増加傾向が見られた、**かえつ有明〈2/2AM〉**は今年もやや人気増。来春は高校募集を再開し、中学入試の回数を減らすだけに、難度の上昇も予想される。

学校名50音順。 ●=男子校／○=共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2014年	2013年	
2月2日 AM			
● 栄光学園	106	77	△ 29 (138%)
● 学習院①	68	100	▲ 32 (68%)
● 鎌倉学園①	165	176	▲ 11 (94%)
● 攻玉社②	102	103	▲ 1 (99%)
● 芝浦工大②	140	132	△ 8 (106%)
● 城北②	91	126	▲ 35 (72%)
● 巣鴨②	81	89	▲ 8 (91%)
● 聖学院②	49	24	△ 25 (204%)
● 聖光学院①	101	90	△ 11 (112%)
● 世田谷学園②	66	95	▲ 29 (69%)
● 高輪B	129	150	▲ 21 (86%)
● 東京都市大学付② I	92	86	△ 6 (107%)
● 法政大第二①	400	378	△ 22 (106%)
● 本郷②	109	88	△ 21 (124%)
● 明大付中野①	418	391	△ 27 (107%)
● 立教池袋①	180	150	△ 30 (120%)
○ 青山学院	186	152	△ 34 (122%)
○ かえつ有明2 / 2AM	49	36	△ 13 (136%)
○ 神奈川大附A	233	227	△ 6 (103%)
○ 関東学院①B	109	133	▲ 24 (82%)
○ 慶應湘南藤沢	75	83	▲ 8 (90%)
○ 桐光学園②	129	108	△ 21 (119%)
○ 東洋大学京北③	43	9	△ 34 (478%)
○ 日大第三②	112	106	△ 6 (106%)
○ 明大付属明治①	130	153	▲ 23 (85%)
2月2日 PM			
● 高輪(算数午後)	82	97	▲ 15 (85%)
● 日大豊山②	122	120	△ 2 (102%)
○ 工学院大②B	32	17	△ 15 (188%)
○ 青稜②B	68	49	△ 19 (139%)
○ 中央大学附属横浜②	117	125	▲ 8 (94%)
○ 桐蔭学園②PM	56	—	— (—)
○ 日本大学B	131	150	▲ 19 (87%)
○ 三田国際学園③本科	15	—	— (—)
○ 安田学園(先進特待2)	42	20	△ 22 (210%)
○ 山手学院B	85	88	▲ 3 (97%)



志望者の増加が目立つ栄光学園中。新校舎建築計画もあるという。

学校名50音順。 ●=男子校／◎=共学校

また、来春2015年入試では、IB（国際バカロリア）の理念や世界標準の「21世紀型教育」の理想をめざして大改革に踏み切った3校の私学の人気動向が注目されているが、そのうちの工学院大学附属②B、三田国際学園③〈本科〉の志望者が今後どこまで伸びるか期待して見ていきたい。

男子2月3日以降入試校

芝②、逗子開成③が後半戦では人気増。

続いて3日入試の動向を見てみよう。慶應中等部と早稲田②はわずかながら志望者を増やしている。浅野、海城②はともにやや志望者を減らしているが、浅野は創立100周年に向けて新図書館、体育館などを新築し、新たな教育環境を整えて次の時代への飛躍を図り、海城は難関校のなかでは先頭を切って世界標準の教育への改革に邁進している。今後は再び人気が高まることだろう。

都立・小石川中等教育学校は志望者が減少へ。表中には紹介していないが、ここにきて都内の公立中高一貫校の人气が落ち着き、志望者は全体にやや減少傾向にあることに注目したい。

後半戦では、4日の聖光学院②、芝②、高輪C、明治大学付属中野②、桐光学園③、5日の逗子開成③、国学院久我山③、6日の京華④〈中高一貫〉などが志望者増。やはり男子の受験生と保護者からは、しっかりと学力を伸ばしてくれる私学が後半戦の最後まで求められている印象だ。

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2014年	2013年	
2月3日 AM			
● 浅野	297	307	▲ 10 (97%)
● 海城②	84	100	▲ 16 (84%)
● 学習院②	78	57	△ 21 (137%)
● 暁星	106	118	▲ 12 (90%)
● 逗子開成②	84	84	△ 0 (100%)
● 成城②	225	247	▲ 22 (91%)
● 筑波大附駒場	50	64	▲ 14 (78%)
● 日大豊山③	128	115	△ 13 (111%)
● 早稲田②	82	76	△ 6 (108%)
◎ 関東学院①C	104	83	△ 21 (125%)
◎ 慶應中等部	121	116	△ 5 (104%)
◎ 小石川中等教育学校	80	101	▲ 21 (79%)
◎ 東京学芸大竹早	71	57	△ 14 (125%)
◎ 日大第二②	146	141	△ 5 (104%)
◎ 横浜市立南高等学校附属	92	90	△ 2 (102%)
2月3日 PM			
◎ 帝京大学③	50	30	△ 20 (167%)
2月4日			
● 鎌倉学園②	76	76	△ 0 (100%)
● サレジオ学院B	85	82	△ 3 (104%)
● 芝②	186	162	△ 24 (115%)
● 聖光学院②	60	46	△ 14 (130%)
● 高輪C	105	80	△ 25 (131%)
● 法政大第二②	258	285	▲ 27 (91%)
● 明大付中野②	228	197	△ 31 (116%)
◎ 中央大学附属②	71	65	△ 6 (109%)
◎ 桐光学園③	115	91	△ 24 (126%)
2月5日			
● 逗子開成③	107	78	△ 29 (137%)
● 本郷③	98	90	△ 8 (109%)
◎ 国学院久我山③	111	60	△ 51 (185%)
◎ 東洋大学京北④	45	15	△ 30 (300%)
2月6日			
● 京華④・中高一貫	20	5	△ 15 (400%)
● 攻玉社(特)	62	60	△ 2 (103%)
◎ 関東学院②	64	43	△ 21 (149%)



やや志望者が減少している海城中だが、世界標準の教育をめざす改革の成果が期待される。



志望者が減少している都立小石川中等教育学校。公立中高一貫校人気も一段落か？



女子2月1日入試校。

鷗友学園①、恵泉女学園S入試などが志望者増

続いて女子の2月1日入試校を見ていこう。

来春2015年は「サンデーショック」の年。プロテスタント系の人気校がいくつも2月2日に入試日を移行することから、従来からの2月1日入試校には志望者を増やすケースが多く出てくるのが通例だが、果たしてどうだろうか。

女子の最難関・桜蔭の志望者数は微増。雙葉も志望者を増やしている。鷗友学園女子①、大妻①、晃華学園①なども志望者を増加させている。

しかし、どこもが志望者を増やしているわけではなく、逆に洗足学園①、学習院女子A、吉祥女子①、頌栄女子学院①などは志望者を減少、もしくは微減させている。早稲田実業、渋谷学園渋谷①も志望者減。

「サンデーショック」の逆の動きで、2月2日から1日に入試日を移行した鎌倉女学院①は昨年並みだが、湘南白百合学園は志望者を大幅に減少させている。

今春の入試で全回の入試とも人気が高かった山脇学園Aは微減。プロテスタント各校が抜けたこともあってか、香蘭女学校、普連土学園①、横浜女学院Aは志望者増。東京女学館〈一般〉①、富士見①なども志望者を増やしている。1日の午後入試に新規参入した恵泉女学園S、カリタス①などは人気増。東京女学館〈一般〉②も新設の午後



志望者の微妙な増減に関わらず、厳しい入試となる桜蔭中（写真は過去の合格発表風景）。

学校名50音順。 ●=女子校／○=共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比増減(%)
	2014年	2013年	
2月1日 AM			
● 跡見学園①	352	345	△ 7 (102%)
● 桜蔭	79	71	△ 8 (111%)
● 鷗友学園①	136	110	△ 26 (124%)
● 大妻①	331	308	△ 23 (107%)
● 大妻多摩①	122	107	△ 15 (114%)
● 大妻中野①	211	192	△ 19 (110%)
● 学習院女子A	107	133	▲ 26 (80%)
● 神奈川学園A・AM	170	137	△ 33 (124%)
● 鎌倉女学院①	144	145	▲ 1 (99%)
● 吉祥女子①	162	172	▲ 10 (94%)
● 共立女子A	371	378	▲ 7 (98%)
● 晃華学園①	63	26	△ 37 (242%)
● 香蘭女学校	399	376	△ 23 (106%)
● 品川女子学院①	327	330	▲ 3 (99%)
● 頌栄女子学院①	116	181	▲ 65 (64%)
● 湘南白百合	53	85	▲ 32 (62%)
● 洗足学園①	160	169	▲ 9 (95%)
● 田園調布①	177	139	△ 38 (127%)
● 東京女学館一般①	181	146	△ 35 (124%)
● 桐朋女子A	116	110	△ 6 (105%)
● 日本女子大附①	164	159	△ 5 (103%)
● 富士見①	271	225	△ 46 (120%)
● 雙葉	62	50	△ 12 (124%)
● 普連土学園①	138	126	△ 12 (110%)
● 三輪田学園①	217	236	▲ 19 (92%)
● 山脇学園A	397	407	▲ 10 (98%)
● 横浜女学院A	115	91	△ 24 (126%)
○ 桜美林2/1AM	103	93	△ 10 (111%)
○ 渋谷教育渋谷①	73	85	▲ 12 (86%)
○ 成城学園①	163	152	△ 11 (107%)
○ 中央大学附属①	168	141	△ 27 (119%)
○ 中央大学附属横浜①	259	298	▲ 39 (87%)
○ 桐光学園①	128	111	△ 17 (115%)
○ 東洋大学京北①	59	—	— (—)
○ 法政大中学高等①	127	109	△ 18 (117%)
○ 三田国際学園①本科	43	17	△ 26 (253%)
○ 明中八王子①	116	77	△ 39 (151%)
○ 早稲田実業	34	61	▲ 27 (56%)
2月1日 PM			
● 大妻中野②アドバンスト	171	161	△ 10 (106%)
● 神奈川学園A・PM	142	113	△ 29 (126%)
● カリタス①	136	115	△ 21 (118%)
● 恵泉女学園S	274	189	△ 85 (145%)
● 東京女学館一般②	91	—	— (—)
● 聖園女学院②	56	38	△ 18 (147%)
○ 関東学院①A	77	68	△ 9 (113%)
○ 湘南学園A	51	41	△ 10 (124%)
○ 東京農大一①	133	89	△ 44 (149%)
○ 三田国際学園②本科	49	4	△ 45 (1225%)
○ 安田学園(先進特待1午後)	36	13	△ 23 (277%)

学校名50音順。 ●=女子校／◎=共学校

入試で91名の志望者を集めている。

また、男子と同様に共学化や校地移転、教育改革で注目される**東洋大学京北①**、**三田国際学園①**〈本科〉の志望状況からは、今後まだ人気が高まりそうな気配が読み取れる。

女子2月2日入試校。 立教女学院、恵泉女学園A①入試などが志望者増

続いて2日入試校のなかで、「サンデーショック」によって2月1日から入試日を移行したプロテスタント各校の動向を見ていこう。

女子学院、**フェリス女学院**は、ともに昨年並み。**横浜共立学園A**と**東洋英和女学院A**は微増。**立教女学院**は志望者の大幅な増加が目立っている。同じく1日から2日に入試日を移行したカトリック校の**横浜雙葉**、**清泉女学院①**はともに志望者が微増。2月1日の午後入試の新設で話題となっている**恵泉女学園A①**は、この2日でも大幅な志望者増を見せている。

これに対して、従来からの2日入試校では、最難関に位置する**慶應湘南藤沢**と**豊島岡女子学園①**の志望者は微減。**白百合学園**、**青山学院**も昨年並みの人気を保っている。**鷗友学園女子②**、**吉祥女子②**、**光塩女子学院①**も志望者を微増させている。**洗足学園②**はほぼ昨年並み。「サンデーショック」による入試地図の変化の影響はさほどない印象だ。

中堅校では、**神奈川学園B**、**富士見②**の人気が目立つ。**日大第三②**もこの日は志望者増。

午後入試では、今春やはり全回の入試とも大人気だった**大妻中野③アドバンスト**の志望者が微増。1日午後にも一般入試を新設した**東京女学館**〈一般〉③、**青山学院大学**との教育提携を公表した**横浜英和女学院B②**などが志望者をやや増やしている。そのほか、男子と同様に、**東洋大学京北**、**三田国際学園**、さらには**開智日本橋学園**などの人気動向にも今後ますます注目しておきたい。

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2014年	2013年	
2月2日 AM			
● 鷗友学園②	44	39	△ 5 (113%)
● 大妻②	104	116	▲ 12 (90%)
● 神奈川学園B	164	136	△ 28 (121%)
● 吉祥女子②	81	66	△ 15 (123%)
● 共立女子B	167	195	▲ 28 (86%)
● 恵泉女学園A①	268	206	△ 62 (130%)
● 光塩女子学院①	70	57	△ 13 (123%)
● 品川女子学院②	173	220	▲ 47 (79%)
● 女子学院	118	116	▲ 2 (102%)
● 白百合学園	59	60	▲ 1 (98%)
● 清泉女学院①	96	79	△ 17 (122%)
● 洗足学園②	105	110	▲ 5 (95%)
● 東洋英和女学院A	154	135	△ 19 (114%)
● 豊島岡女子①	116	133	▲ 17 (87%)
● フェリス	92	89	△ 3 (103%)
● 富士見②	150	127	△ 23 (118%)
● 三輪田学園②	148	132	△ 16 (112%)
● 山脇学園B	231	241	▲ 10 (96%)
● 横浜共立A	146	130	△ 16 (112%)
● 横浜雙葉	88	79	△ 9 (111%)
● 立教女学院	160	119	△ 41 (134%)
◎ 青山学院	150	153	▲ 3 (98%)
◎ 神奈川大附A	174	185	▲ 11 (94%)
◎ 慶應湘南藤沢	54	59	▲ 5 (92%)
◎ 日大第三②	88	64	△ 24 (138%)
◎ 明大付属明治①	73	139	▲ 66 (53%)
2月2日 PM			
● 大妻中野③アドバンスト	143	134	△ 9 (107%)
● 東京女学館一般③	89	82	△ 7 (109%)
● 日大豊山女③	85	55	▲ 30 (155%)
● 普連土学園②	80	89	▲ 9 (90%)
● 横浜英和女学院B②	58	45	△ 13 (129%)
◎ 中央大学附属横浜②	122	139	▲ 17 (88%)
◎ 日本大学B	129	147	▲ 18 (88%)
◎ 安田学園(先進特待2)	31	10	△ 21 (310%)
◎ 山手学院B	80	82	▲ 2 (98%)



2月1日から2日に入試日を移すミツシヨンスクールのなかで、人気が増加が目立つ立教女学院。



女子2月3日以降の入試校。

大妻中野、日本女子大附属などが志望者増

続いて2月3日校の状況は、まず慶應中等部の志望者が微減。豊島岡女子学園②はほぼ昨年並み。「サンデーショック」に対する動きで、4日から3日入試に参入した鎌倉女学院②は目立って志望者減となっている。2日、3日の連日入試となる東洋英和女学院Bは志望者が倍増した。

このほか3日では、日本女子大附属②、大妻中野④アドバンスト、江戸川女子③などの志望者増が目立っている。桜修館の志願者減に象徴されるように、都内の公立中高一貫校は、男子と同様に全体的に志望者が減少へ。逆に神奈川の県立・相模原、横浜市立南はともに志望者が微増。

3日の午後入試では、桐朋女子B、横浜英和女学院C、三田国際学園④〈本科〉などが志望者増。

2月4日以降の後半戦でも、堅実な教育で、しっかりと学力を伸ばしてくれる進学校が人気。やはり女子の入試でも、こうした教育力のある私学は、最後の最後までチャンスを探るときに選ぶ併願校として求められているということだろう。

入試を1月から2月4日～6日までのトータルなチャンスとしてとらえ、上手な併願を組み立てていくことの重要性はいまも変わらない。その意味でも、9月以降の志望動向を注意深く見据えて、今後、わが子にとってベストな受験作戦を考えていくことを保護者の皆さんにお願いしたい。

学校名50音順。 ●=女子校 / ○=共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2014年	2013年	
2月3日 AM			
● 江戸川女子③	72	55	△ 17 (131%)
● 大妻③	81	69	△ 12 (117%)
● 大妻中野④アドバンスト	126	83	△ 43 (152%)
● 学習院女子B	52	50	△ 2 (104%)
● 鎌倉女学院②	68	96	▲ 28 (71%)
● 晃華学園②	38	23	△ 15 (165%)
● 昭和女子大附C	156	142	△ 14 (110%)
● 田園調布②	127	113	△ 14 (112%)
● 東洋英和女学院B	60	30	△ 30 (200%)
● 豊島岡女子②	34	38	▲ 4 (89%)
● 日本女子大附②	109	85	△ 24 (128%)
○ 桜修館中等教育学校	99	135	▲ 36 (73%)
○ 神奈川県立相模原中	89	81	△ 8 (110%)
○ 慶應中等部	59	70	▲ 11 (84%)
○ 日大第二②	140	128	△ 12 (109%)
○ 明大付属明治②	28	44	▲ 16 (64%)
○ 横浜市立南高等学校附属	95	87	△ 8 (109%)
2月3日 PM			
● 桐朋女子B	128	111	△ 17 (115%)
● 横浜英和女学院C	89	58	△ 31 (153%)
○ 三田国際学園④本科	28	7	△ 21 (400%)
2月4日			
● 神奈川学園C	114	70	△ 44 (163%)
● 共立女子C	122	103	△ 19 (118%)
● 恵泉女子学園A②	176	151	△ 25 (117%)
● 実践女子学園③	197	191	△ 6 (103%)
● 品川女子学院③	133	124	△ 9 (107%)
● 三輪学園③	171	140	△ 31 (122%)
● 横浜共立B	73	70	△ 3 (104%)
○ 森村学園③	74	64	△ 10 (116%)
2月5日			
● 頌栄女子学院②	107	100	△ 7 (107%)
● 洗足学園③	95	90	△ 5 (106%)
2月6日			
○ 淑徳(東大②)	22	15	△ 7 (147%)
○ 山手学院(後期)	26	22	△ 4 (118%)

2015年入試を勝ち抜く「併願作戦」を立てるヒント

～合格を引き寄せる5つのポイント～

ここで来春2015年入試で合格をつかむための「ベストな併願作戦を組み立てる」うえで「ヒント」を紹介しておこう。以下は第一志望だけではなく、すべての併願校を選んでいくためにも重要なことにほかならない。だからこそ、これから受験校選びをしていくうえで、あらためて意識すべきポイントとして参考にさせていただきたい。

- (1) 少なくとも6校(6回)以上に出願し、合格を得るまで「受け抜く」覚悟を固める。
- (2) 上記(1)のことを実行するために、少なくとも10校以上の学校を見学する。
- (3) 親子で「これだけは譲れない」という学校選択の条件を絞り、それ以外は柔軟に受験校を選ぶ。
第2志望校以下は「親の責任で」選び、併願校に加える。
- (4) 併願校の難易度を上下幅広く選び、慎重かつ強気の組み合わせを考える。
- (5) どんな状態、コンディションでも、親子で「最後まで明るく」入試に挑む。

男女1月中の入試校。

千葉では市川、東邦大東邦などが高い人気

1月中入試の男女の動向として、表にはないが、1月5日の取手聖徳女子①、6日の土浦日大①〈一般〉、7日の常総学院①なども、わずかながら志望者を増加させていることに注目しておきたい。

1月10日の栄東Aは相変わらずの人気。11日の栄東〈東大I〉はほぼ昨年並み。この埼玉入試緒戦の10日～11日は、最近では2月1日～2日のように、午前～午後の入試が年々増えてきて、受験生にとっては大きなヤマ場となる。今後の人気動向を注意深く見守っていく必要がある。

1月20日からの千葉エリアの入試では、今春入試と同様に、渋谷学園幕張①、東邦大付属東邦〈前期〉、市川①、昭和秀英②〈一般〉など、総武線沿線の難関校がいずれも志望者を増加させている。さらに常磐線エリアの専修大松戸①、芝浦工大柏①も志望者増。麗澤は来春からコース制入試となるため各回の志望者は減っているが、トータルでは人気増加傾向と考えておくべきだろう。

女子の1月入試校の動向も基本的には男子と同様だ。埼玉では数多い共学校に、浦和明の星女子、淑徳与野という大人気的女子校が加わり、入試のヤマ場が14日まで続くので、さらに要注意。

千葉では、とくに常磐線エリアの共学3校が女子受験生にも人気が高い私学だという点に注意が必要だ。



高校校舎がこの中学校校舎の隣接地に移転することへの期待もあり、今春入試では人気だった淑徳与野中。

学校名50音順。 ●=男子校／●=女子校／◎=共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比増減(%)
	2014年	2013年	
男子1月10日 AM			
◎ 栄東 A	169	169	△ 0 (100%)
◎ 西武文理①	97	96	△ 1 (101%)
男子1月10日 PM			
◎ 春日部共栄①GE	32	—	— (—)
◎ 埼玉栄(難関大特待I)	26	27	▲ 1 (96%)
男子1月11日～19日			
● 城北埼玉①	165	190	▲ 25 (87%)
◎ 江戸川取手①	184	178	△ 6 (103%)
◎ 開智①	90	127	▲ 37 (71%)
◎ 栄東(東大I)	65	71	▲ 6 (92%)
◎ 獨協埼玉①	171	192	▲ 21 (89%)
◎ 茗溪学園(一般①)	100	104	▲ 4 (96%)
男子1月20日～			
● 立教新座①	219	182	△ 37 (120%)
◎ 市川①	428	377	△ 51 (114%)
◎ 芝浦工大柏①	313	302	△ 11 (104%)
◎ 渋谷幕張①	176	173	△ 3 (102%)
◎ 昭和秀英②一般	259	199	△ 60 (130%)
◎ 専大松戸①	265	232	△ 33 (114%)
◎ 千葉日大一①	201	197	△ 4 (102%)
◎ 東海大付浦安A	101	113	▲ 12 (89%)
◎ 東邦大付東邦(前)	398	375	△ 23 (106%)
◎ 成田高校付(前)	114	107	△ 7 (107%)
◎ 麗澤①AE	88	—	— (—)
女子1月10日 AM			
◎ 埼玉栄(進学①)	67	53	△ 14 (126%)
◎ 栄東 A	192	152	△ 40 (126%)
◎ 西武文理①	85	89	▲ 4 (96%)
◎ 星野学園(進学①)	126	112	△ 14 (113%)
女子1月11日～19日			
● 大妻嵐山①	69	55	△ 14 (125%)
● 浦和明の星①	148	164	▲ 16 (90%)
● 淑徳与野①	200	210	▲ 10 (95%)
◎ 江戸川取手①	171	147	△ 24 (116%)
◎ 開智①	79	115	▲ 36 (69%)
◎ 栄東(東大I)	34	37	▲ 3 (92%)
◎ 獨協埼玉①	191	225	▲ 34 (85%)
◎ 茗溪学園(一般①)	80	74	△ 6 (108%)
女子1月20日～			
● 国府台女子①	253	301	▲ 48 (84%)
● 聖徳大附女①S選抜	48	47	△ 1 (102%)
● 和洋国府台①	142	165	▲ 23 (86%)
◎ 市川①	288	280	△ 8 (103%)
◎ 芝浦工大柏①	181	130	△ 51 (139%)
◎ 渋谷幕張①	112	121	▲ 9 (93%)
◎ 昭和秀英②一般	241	238	△ 3 (101%)
◎ 専大松戸①	270	242	△ 28 (112%)
◎ 千葉日大一①	177	164	△ 13 (108%)
◎ 東邦大付東邦(前)	286	272	△ 14 (105%)
◎ 麗澤①AE	110	—	— (—)